

P07

見て、聞いて、触って、 子供たちに自然を！

北海道森林管理局 常呂川森林ふれあい推進センター
自然再生指導官 磯野 一浩

取り組みの経過

平成17年からオホーツクの森で実施していた「ボランティア育樹」が、保育作業の完了により平成29年で終了したことから、これまで森林環境教育の場として参加していた端野小学校、常呂小学校に対して、新たに「体験学習」を提案し実施しましたので、その取り組みについて紹介します。

森林環境教育の課題と実施に向けて

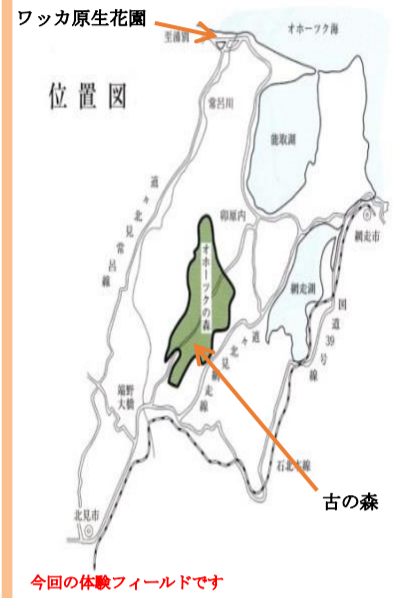
学校を対象とした森林教室などの取り組みが非常に少ない状況の中、学校側の状況及びニーズの把握を目的に、平成28年北見市内の小学校教諭を対象としたアンケート調査を行いました。結果、

- ① 森林環境教育に対する認識はあるものの、その学習支援を国有林で行っていることはほとんど知られていない。
 - ② 森林環境教育に興味はあるが、なかなか具体的なイメージを持たず、実施するための様々なハードル（移動方法や子供の安全等）を感じている。
 - ③ 中でも特に授業時間の確保が難しいと考えている。
 - ④ 希望するプログラムは「森林散策・自然観察」「クラフト作製」が多い。
- という状況がわかりました。

実施にあたっては、アンケート調査の結果を参考にしながら、

- ① 自然観察
- ② 育樹体験
- ③ 森林教室（講義）
- ④ クラフト作製

について、時期や場所及び必要時間等、明確なイメージが持てるように提示しました。



見て、聞いて、触って、

端野小学校

(5年生35名・教諭2名)

【事前の打ち合わせ】

「自然散策をさせたい」という要望の中、当日のタイムスケジュールと、散策する「古の森」の資料を渡して説明し、子供たちへの事前レクチャーをお願いしました。

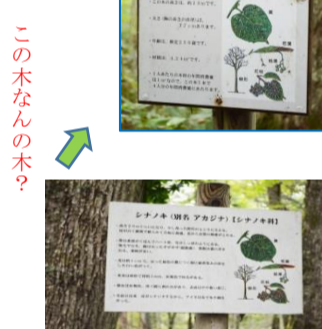


【予定地「古の森」の下見及び蜂の巣確認】

ネイチャーゲームを行う場所、散策ルート、説明ポイントを確し併せて遊歩道の近辺に蜂の巣等の危険が無いかも確認しました。



倒木更新



この木なんの木？
ハリギリの巨木



「古（いにしえ）の森」を探検中



カモフラージュ、見つけられるかな

【実施内容】

まずはアイスブレイクで子供たちの緊張をほぐしたあとに、3班に分かれてカモフラージュです。

自然界に存在しない物を探しながら、何故保護色を使って隠れるのか、また、木の実が赤く色鮮やかに目立つのかを説明しました。近くに白い葉が目立つマタタビがあり、それらの持つ意味を皆で話し合いました。

次に「古の森」の遊歩道を歩きながら、凍裂や倒木更新などを見て自然の仕組みについてお話。太い木が多く存在する森の中で、1種類だけでも木の名前を覚えようと歩道脇の標示板を使いながら木々の特徴について話しました。

(3年生24名・教諭4名)

常呂小学校

【事前の打ち合わせ及び下見】

実施場所はワッカ原生花園でお願いしたい。昨年は30分程度のビデオ鑑賞と散策路でのフリータイムでしたが、「体験的なメニューが入れてほしい」とのことでした。最初の下見を行った結果、原生花園奥の国有林内散策は諦めて（入口から遠く時期的に観光者が多い）、原生花園内でのネイチャーゲーム3種を実施することを伝えました。ゲームの目的を伝えながら必要な道具類（画用紙やクレヨン）の準備をお願いしました。



観光者との交流



変なムシ発見！



カメラゲームで記憶を辿っています

【実施内容】

集合場所でまずはアイスブレイク。緊張が解れたところで3班に分かれて園内の散策を開始しました。1つ目のプログラムはフィールドビンゴ。

「紫色の花」

や「貝殻」「あわ」等16種類の探し物をします。

次にサウンドマップです。耳を澄ませて四方から聞こえる様々な音を好きな形で画用紙に描きます。

最後はカメラゲームです。2人一組で1人はカメラマン、もう1人はカメラになって、カメラマンが切り取った景色を、カメラ役の子が記憶を頼りに絵にします。

こうして園内にある物や音に目・耳を向けてもらいながら、これら身近な物が実はとても貴重なものであることを話しました。

今後に向けて



ご意見の一部です！

実施後に両校から多くの貴重なご意見をいただきました。

今後は、これらのご意見を参考に、「総合学習」「特別活動」といった時間の活用と合わせ、図工や理科・社会の授業を森林環境教育と結びつけたプログラムの提供を考えています。

これからも学校側の要望を掘り起こし、子供たちが自然に触れて考えられる時間を提供したいと思います。

- 1 子供たちが自然と触れ合い楽しそうでした。
- 2 「木の名前を覚えよう」という課題ですが、多くの情報を一度に処理することが困難だと感じました
- 3 乗り物酔いの事前対策とダニに対する知識を学習しておくとういと思いました。
- 4 日程が弁当なしの半日なので、日にちをずらしやすかったです。
- 5 小グループで活動できて内容が充実し良かったです。
- 6 「観察しなさい」ではなく、ゲームのような感じで「よく見る」と言うことが自然にできていました。
- 7 フィールドビンゴにいくつか曖昧な基準のものがああり、子供たちが混乱「大きな石」→「顔より大きな石」等にした方が。あとイラストがあると分かり易いと思いました。
- 8 プログラムの中で子供たちが描いたものを、グループ内で見せ合ったり交流する時間があれば、さらに良い活動になったのではないかと思います。
- 9 サウンドマップは子供の興味を引くのが難しく、何らかの工夫が必要だと思いました。